



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月11日

上場会社名 川田テクノロジー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3443 URL https://www.kawada.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 敏 TEL 03-3915-7722
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	56,067	△8.1	△1,340	—	534	△72.6	833	△51.1
2020年3月期第2四半期	61,007	9.8	726	△52.0	1,949	△34.6	1,705	△27.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 607百万円 (△63.9%) 2020年3月期第2四半期 1,683百万円 (△29.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	141.68	141.53
2020年3月期第2四半期	290.74	289.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	142,297	60,800	42.2
2020年3月期	139,093	60,630	43.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 60,029百万円 2020年3月期 59,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	80.00	80.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	△9.5	3,500	△48.2	3,800	△55.5	2,500	△61.2	424.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	5,914,870株	2020年3月期	5,914,870株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	24,970株	2020年3月期	38,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	5,881,644株	2020年3月期2Q	5,864,654株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・機関投資家・アナリスト向け決算説明会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、参加者及び関係者の皆さまの健康・安全第一に考慮し、中止することといたしました。なお、決算説明に関する資料と動画の配信について当社ウェブサイトより案内する予定にしています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	12
受注、販売及び繰越高の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高56,067百万円（前年同四半期比8.1%減）、営業損失1,340百万円（前年同四半期は営業利益726百万円）、経常利益534百万円（前年同四半期比72.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益833百万円（同51.1%減）となりました。受注高につきましては57,366百万円（同41.5%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

（鉄構セグメント）

当セグメントの中で、鋼製橋梁事業につきましては、大型の特定更新工事を受注できたことにより、前年同四半期を上回る受注を確保できました。売上高は、高速道路会社発注の大型工事をはじめとして概ね順調に進捗したことで前年同四半期並の水準を維持できたものの、損益面は、高速道路会社や国土交通省発注の大型案件の設計変更協議が工事の工期や進捗状況等の関係で当連結会計年度の終盤以降に集中し、結果として当第2四半期連結会計期間では原価が先行する工事が多くなったことで、大幅に悪化しました。

鉄骨事業についてはオリンピック後に計画されている案件までの端境期が想定以上に長引く中、前年同四半期実績を上回る受注を確保いたしました。しかしながら足の長い案件が多かったことや前連結会計年度には大型工事の設計変更獲得があった反動で、売上高並びに損益は減少しました。

セグメント全体では売上高28,665百万円（前年同四半期比10.4%減）、営業損失1,761百万円（前年同四半期は営業利益2,170百万円）となりました。また、受注高は30,850百万円（前年同四半期比137.7%増）となりました。

当セグメントにおいては、当第2四半期連結会計期間において設計変更契約が未了による影響が相当額ありますが、これらにつきましては今後、協議が整い次第、順次計上していく予定であります。

（土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、売上高は、前連結会計年度からの豊富な繰越高を受け、PC橋梁の新設事業及び高速道路の床版取替を中心とした更新事業を中心に工事が順調に進捗したことで18,754百万円（前年同四半期比22.3%増）となりました。

損益面は、新設事業、更新事業とも設計変更が獲得できたことや原価低減が図れたことにより営業利益1,544百万円（前年同四半期は営業損失800百万円）となり、大幅に改善させることができました。

受注高は、新設事業は前年同四半期を下回りましたが、更新事業と保全事業を中心に受注を積み重ねることができたことで、17,032百万円（前年同四半期比3.0%増）となりました。

（建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、前連結会計年度からの繰越高の減少に加え、当第2四半期連結会計期間の期初に受注を予定していた案件が新型コロナウイルス感染症の影響により計画の見直しや先送りとなったことで受注が伸び悩み、売上高は5,289百万円（前年同四半期比46.5%減）となりました。

損益面は、システム建築とS造建築の採算性が改善したものの売上ボリューム減少による減益を補うまでに至らず、営業利益477百万円（同15.8%減）となりました。

受注高につきましては3,575百万円（同22.5%減）という結果になりましたが、下半期は物流倉庫をはじめとした案件受注を見込んでおり、受注の回復に努めてまいります。

（その他）

その他におきましては、コロナ禍が続く中、航空機使用事業を中心に影響を受けたことで、売上高は4,915百万円（前年同四半期比15.8%減）、営業損失346百万円（前年同四半期は営業利益8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における「資産の部」は142,297百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,204百万円(+2.3%)増加しました。これは主に、現金預金が3,938百万円、関係会社株式が2,241百万円及び未成工事支出金が1,030百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が5,729百万円減少したことによるものであります。

また、「負債の部」は81,497百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,033百万円(+3.9%)増加しました。これは主に、短期借入金及び長期借入金が5,992百万円、未成工事受入金が3,317百万円増加し、支払手形・工事未払金等が5,996百万円減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は60,800百万円となり、前連結会計年度末に比べ170百万円(+0.3%)増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が363百万円増加し、為替換算調整勘定が181百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.0%から42.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ、3,940百万円増加し13,215百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,430百万円の資金増加(前年同四半期連結累計期間は4,383百万円の資金減少)となりました。これは主に、売上債権の減少等による資金の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,288百万円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は1,106百万円の資金減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得等による資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5,803百万円の資金増加(前年同四半期連結累計期間は2,972百万円の資金増加)となりました。これは主に、長期借入金の増加等による資金の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、2020年5月22日公表の連結業績予想の内容と変更ございません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、今後の感染拡大状況にもよりますが、現時点では軽微であると判断しています。今後業績予想に修正の必要が生じた場合には適切に開示してまいります

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	9,361	13,300
受取手形・完成工事未収入金等	55,898	50,168
未成工事支出金	3,337	4,367
その他のたな卸資産	1,150	1,184
その他	4,916	5,522
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	74,658	74,538
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	5,849	5,750
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	3,055	3,347
航空機（純額）	989	910
土地	14,821	14,927
リース資産（純額）	1,617	1,488
建設仮勘定	423	459
有形固定資産合計	26,757	26,884
無形固定資産		
	863	893
投資その他の資産		
投資有価証券	2,090	2,702
関係会社株式	31,571	33,813
繰延税金資産	2,323	2,678
その他	1,355	1,315
貸倒引当金	△527	△527
投資その他の資産合計	36,812	39,981
固定資産合計	64,434	67,759
資産合計	139,093	142,297

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	33,147	27,150
短期借入金	11,440	15,700
1年内返済予定の長期借入金	4,652	4,849
1年内償還予定の社債	5	150
リース債務	805	690
未払法人税等	872	308
未成工事受入金	4,105	7,422
賞与引当金	2,189	2,181
完成工事補償引当金	249	61
工事損失引当金	1,946	2,271
その他	3,773	3,348
流動負債合計	63,187	64,133
固定負債		
社債	100	700
長期借入金	8,530	10,066
リース債務	916	905
繰延税金負債	55	71
再評価に係る繰延税金負債	1,475	1,475
役員退職慰労引当金	482	514
退職給付に係る負債	3,242	3,295
資産除去債務	288	138
負ののれん	131	122
その他	54	74
固定負債合計	15,276	17,364
負債合計	78,463	81,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,283	5,283
資本剰余金	10,762	10,745
利益剰余金	40,883	41,246
自己株式	△107	△36
株主資本合計	56,822	57,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,444	1,390
土地再評価差額金	979	979
為替換算調整勘定	594	413
退職給付に係る調整累計額	16	7
その他の包括利益累計額合計	3,034	2,789
新株予約権	2	2
非支配株主持分	771	769
純資産合計	60,630	60,800
負債純資産合計	139,093	142,297

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	61,007	56,067
売上原価	55,330	52,604
売上総利益	5,677	3,462
販売費及び一般管理費	4,950	4,802
営業利益又は営業損失(△)	726	△1,340
営業外収益		
受取利息及び配当金	37	145
受取賃貸料	72	76
負ののれん償却額	10	10
持分法による投資利益	1,356	1,790
補助金収入	58	226
その他	120	120
営業外収益合計	1,656	2,370
営業外費用		
支払利息	136	174
賃貸費用	237	250
その他	60	71
営業外費用合計	434	496
経常利益	1,949	534
特別利益		
補助金収入	1,401	-
特別利益合計	1,401	-
特別損失		
減損損失	-	4
固定資産圧縮損	1,401	-
特別損失合計	1,401	4
税金等調整前四半期純利益	1,949	529
法人税、住民税及び事業税	338	161
法人税等調整額	△126	△476
法人税等合計	212	△314
四半期純利益	1,736	844
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,705	833

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,736	844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	320
退職給付に係る調整額	△72	△17
持分法適用会社に対する持分相当額	13	△539
その他の包括利益合計	△53	△237
四半期包括利益	1,683	607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,652	588
非支配株主に係る四半期包括利益	31	18

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,949	529
減価償却費	1,240	1,350
減損損失	-	4
負ののれん償却額	△9	△9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	5	△8
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△5	△188
工事損失引当金の増減額(△は減少)	199	325
その他の引当金の増減額(△は減少)	0	△8
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11	31
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△40	36
受取利息及び受取配当金	△37	△145
支払利息	136	174
持分法による投資損益(△は益)	△1,356	△1,790
固定資産売却損益(△は益)	△48	△16
固定資産除却損	12	18
固定資産圧縮損	1,401	-
補助金収入	△1,535	△259
売上債権の増減額(△は増加)	△3,273	5,729
未成工事支出金の増減額(△は増加)	517	△1,031
たな卸資産の増減額(△は増加)	△208	△34
仕入債務の増減額(△は減少)	1,747	△5,996
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△1,800	3,317
その他	△2,789	△136
小計	△3,909	1,891
損害賠償金の支払額	-	△3
保険金の受取額	27	166
補助金の受取額	1,667	452
法人税等の支払額	△2,169	△1,076
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,383	1,430
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11	△10
定期預金の払戻による収入	10	12
有形固定資産の取得による支出	△1,242	△2,177
有形固定資産の売却による収入	163	53
無形固定資産の取得による支出	△273	△183
投資有価証券の取得による支出	△5	△156
関係会社株式の取得による支出	-	△1,220
貸付けによる支出	-	△1
貸付金の回収による収入	1	0
利息及び配当金の受取額	277	385
その他	△26	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,106	△3,288

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,997	4,260
長期借入れによる収入	80	4,450
長期借入金の返済による支出	△3,065	△2,717
社債の発行による収入	-	742
社債の償還による支出	△65	△5
利息の支払額	△139	△177
リース債務の返済による支出	△204	△231
新株予約権の行使による株式の発行による収入	17	-
配当金の支払額	△582	△466
その他	△65	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,972	5,803
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,522	3,940
現金及び現金同等物の期首残高	10,629	9,275
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,106	13,215

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,478	14,187	9,792	55,458	5,549	61,007
セグメント間の内部売上高 又は振替高	498	1,145	100	1,744	289	2,033
計	31,977	15,332	9,893	57,203	5,838	63,041
セグメント利益又は損失(△)	2,170	△800	566	1,936	8	1,944

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,936
「その他」の区分の利益	8
セグメント間取引消去	△112
全社費用(注)	△1,324
その他の調整額	218
四半期連結損益計算書の営業利益	726

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しています。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,193	18,316	5,038	51,547	4,519	56,067
セグメント間の内部売上高 又は振替高	472	437	251	1,161	396	1,557
計	28,665	18,754	5,289	52,709	4,915	57,625
セグメント利益又は損失(△)	△1,761	1,544	477	260	△346	△85

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	260
「その他」の区分の損失(△)	△346
セグメント間取引消去	△274
全社費用(注)	△1,257
その他の調整額	277
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,340

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しています。

3. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	12,976	32.0	30,850	53.8	17,873	137.7
土木	16,534	40.8	17,032	29.7	497	3.0
建築	4,614	11.4	3,575	6.2	△1,039	△22.5
その他	6,422	15.8	5,907	10.3	△515	△8.0
合計	40,548	100.0	57,366	100.0	16,817	41.5

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	31,977	50.7	28,665	49.8	△3,311	△10.4
土木	15,332	24.3	18,754	32.5	3,421	22.3
建築	9,893	15.7	5,289	9.2	△4,603	△46.5
その他	5,838	9.3	4,915	8.5	△922	△15.8
合計	63,041	100.0	57,625	100.0	△5,416	△8.6

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期 連結会計期間末 (2019年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間末 (2020年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	69,144	50.8	70,695	52.9	1,551	2.2
土木	51,532	37.9	50,444	37.7	△1,088	△2.1
建築	13,307	9.8	10,400	7.8	△2,907	△21.8
その他	2,095	1.5	2,210	1.6	115	5.5
合計	136,079	100.0	133,750	100.0	△2,329	△1.7

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。